

各位

2024 年 5 月 21 日
SBI ホールディングス株式会社

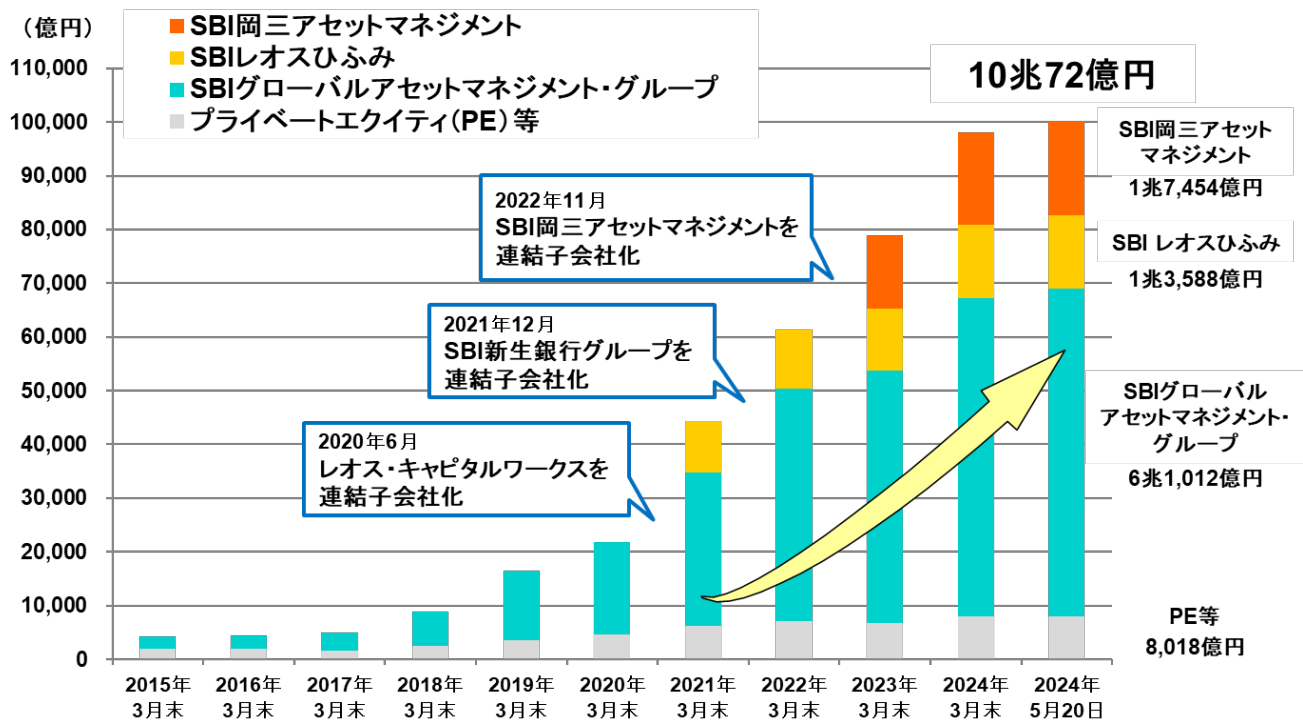
SBI グループの運用資産残高 10 兆円突破のお知らせ

SBI ホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝、以下「当社」）は、当社グループの傘下の資産運用会社である SBI グローバルアセットマネジメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：朝倉 智也、以下「SBI グローバルアセットマネジメント」）、SBI レオスひふみ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 会長兼社長 グループ CEO 藤野 英人、以下「SBI レオスひふみ」）、SBI 岡三アセットマネジメント株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 塩川 克史、以下「SBI 岡三アセットマネジメント」）および当社のプライベートエクイティ等での運用資産残高の合計（以下「グループ運用資産残高」）が 2024 年 5 月 20 日に 10 兆円を突破いたしましたのでお知らせいたします。

SBI グローバルアセットマネジメントでは、傘下の SBI アセットマネジメントが設定・運用する公募インデックスファンドである「SBI・V・S&P500 インデックス・ファンド」が設定から 4 年半で純資産残高 1.6 兆円を突破したほか、公募アクティブファンドでは、2023 年 12 月 12 日に設定・運用を開始した「SBI 日本高配当株式（分配）ファンド（年 4 回決算型）」が僅か 5 カ月で純資産残高 700 億円、2024 年 2 月 28 日に設定・運用を開始した「SBI 欧州高配当株式（分配）ファンド（年 4 回決算型）」が僅か 40 営業日で純資産残高 100 億円をそれぞれ突破するなど、運用資産残高を急速に伸ばしてきました。

また、SBI レオスひふみでは、傘下のレオス・キャピタルワークスにおいて公募アクティブファンド「ひふみ投信」「ひふみプラス」「ひふみワールド」「ひふみワールド+」が基準価額の最高値を更新し、2024 年 2 月 26 日には投資信託「ひふみ」シリーズと国内外の年金基金運用等の合計である運用資産残高 1.3 兆円を突破いたしました。また、金融業界最大級のチャンネル登録者数を誇る YouTube チャンネル「お金のまなびば!」において、お金や投資、経済に関する多様な情報の提供を通じ、多くのお客様の支持を獲得しています。

さらに、SBI 岡三アセットマネジメントでは、20 年近い運用実績を持つ「日本好配当リバランスオープン」（純資産残高 1,936 億円）や 2023 年 9 月 20 日に設定した「世界半導体関連フォーカスファンド」（純資産残高 1,312 億円）などを中心に運用資産残高が順調に拡大しています。（純資産残高は 2024 年 5 月 20 日現在）



(※1) 各月末日における為替レートを適用。

(※2) 億円未満は四捨五入。

(※3) プライベートエクイティ等 (PE 等) には現預金及び未払込額は含まない。2017 年 3 月末までは投資事業組合等による投資のうち、市場価格のない非上場株式等は取得原価 (減損処理を行ったものは減損処理後の金額) で評価しているが、2018 年 3 月以降は公正価値で評価。2024 年 5 月 20 日として表示されている残高は 2024 年 3 月末時点。

(※4) SBI 岡三アセットマネジメント、SBI レオスひふみ、SBI グローバルアセットマネジメント・グループの各社 (以下「アセット マネジメント各社」) については、投資信託と投資顧問のそれぞれに計上しており、一部重複がある。

(※5) アセットマネジメント各社の数値は公募投信、公社債投信、私募投信を含む。

当社グループの資産運用事業各社では、これまで「顧客中心主義」の事業構築の基本観のもと、投資家の皆さまの様々なニーズを満たすべく、多様な商品展開を実施してまいりましたが、このような取り組みが多くのお客さまの皆さまに受け入れられた結果、このたび 10 兆円という節目を突破することができたと考えております。今後は、提供商品の多様化や低コスト化に加え、オルタナティブ投資などの新たな商品の提供による投資の選択肢の拡大を通じて、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献すると同時に、当社グループが目標とする 2027 年度中のグループ運用資産残高 20 兆円の達成を目指してまいります。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126